

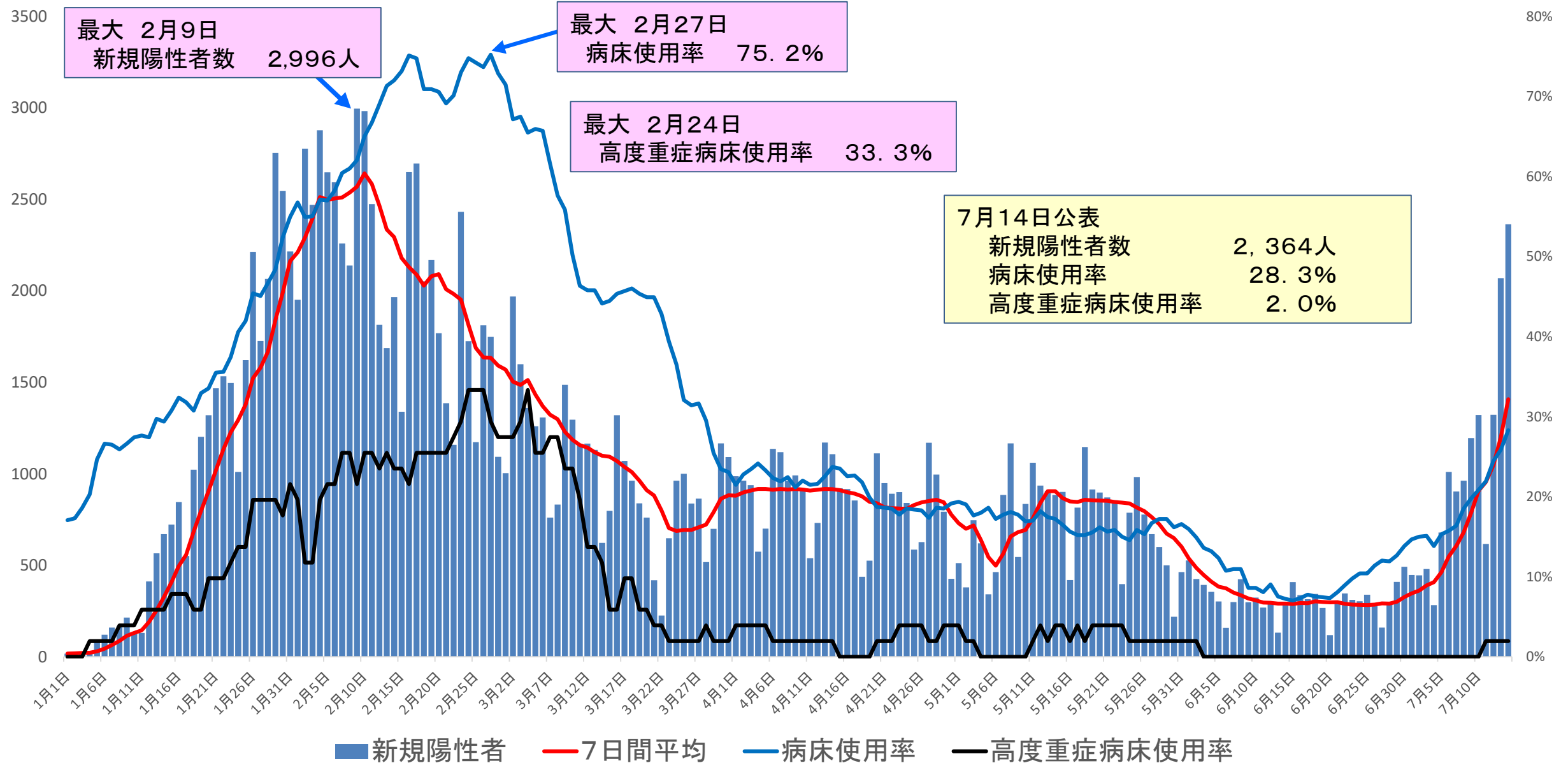
感染拡大を踏まえた今後の対応



令和4年7月15日

京都府知事 西脇 隆俊

新規陽性者数と病床使用率の推移



府民の皆様へのお願い

お盆や夏休みの帰省時期等にあわせ
今一度、感染防止対策の徹底を

屋内感染を防ぐため、換気を徹底しましょう

1. エアコン使用中でも、こまめな換気を

→ 窓を開ける

→ 扇風機と換気扇を使用する

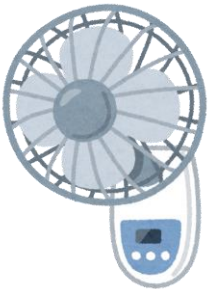
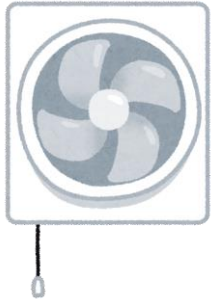
※CO2センサーがある場合は、1,000ppm以下を維持

2. 同じ場所に長時間滞在する場合は特に注意を

3. コロナ分科会提言（7月14日）を踏まえた効果的な換気を

※特に高齢者施設、学校、保育所等

4. 子どもたちが多く集まる場所では、周りの大人が気をつけて



会話の際は、マスクを着用しましょう

◆飲食の際はマスクを外すため、感染リスクが高まります

飲食時の感染をひろげないため、**会話の際は、マスクの着用を**

◆熱中症予防のため適切なマスクの着脱を

マスク着用が必要な場面

屋内：**会話を行う**場合、人と十分な**距離が取れない**場合

屋外：人と十分な**距離が取れない状態**で**会話を行う**場合

現在の感染状況を踏まえたお願い

早期のワクチン接種をお願いします

60歳以上の方や基礎疾患をお持ちの方



重症化予防のため、積極的に4回目のワクチン接種を

3回目未接種の方

接種によりワクチンの効果が回復するため、早めの接種を

現在の感染状況を踏まえたお願い

他の人に感染させないように気をつけましょう

自宅療養の方

1. 自宅療養期間中は、外出しないでください
2. 同居の方とは、極力、生活空間を分けてください

濃厚接触者

感染の可能性が高いため、不要不急の外出を控えてください

感染拡大を踏まえた対応

ワクチン接種の推進

3回目接種の更なる促進

- ◆お盆や夏休みの帰省時期等を控え、**若年層への接種の呼びかけを強化**
→ SNSの活用、動画配信など
- ◆若年層が接種しやすい環境づくり
→ 京都府：大学・企業等への**ワクチン接種バスの派遣**
京都タワー会場でのノババックスワクチン接種 等
→ 市町村：ファイザーワクチンの接種会場の設置 等

4回目接種の対象拡大への対応

- ◆医療従事者・高齢者施設従事者等への対象拡大に向けた準備を推進

高齢者施設における迅速な4回目接種の推進

早期接種の機会確保

◆高齢者施設へのワクチン接種チーム派遣

概 要	ワクチン接種チーム（医師、看護師等）を巡回派遣し、接種機会の増加・接種の迅速化を図る
対 象	府内の高齢者施設 （※概ね5人以上の接種者が見込まれること （ただし、施設の事情に応じて少人数でも対応） ※同一施設に対する複数回の派遣を想定）

無料検査体制の充実

◆お盆や夏休みの帰省時期にあわせ、主要駅前での検査を拡充

対象の駅	京都駅、京阪出町柳駅、近鉄大久保駅
検査ブース数	18ブース → <u>30ブース</u> ※検査人数の増加に対応
検査回数／日	707回／日 → <u>1,210回／日</u> ※処理能力が約1.7倍に
開始時間	午前8時 ※各1～2時間前倒し
拡充期間	8月5日(金)～8月18日(木)

◆感染に不安を感じる無症状の方の無料検査を再開

→7月16日から当面の間

(※特措法第24条第9項)

高齢者施設、幼稚園・保育所等での検査の実施

施設等における感染防止の徹底

◆ 高齢者施設等従事者、教職員等に対する検査の実施

陽性者の**早期発見**による**感染拡大防止**と**業務継続**のため、**抗原定性キット**を**事前配布**

配布先		配布数
高齢者施設・障害者支援施設	※入所系施設	17,000キット
小学校、特別支援学校		13,000キット
幼稚園、保育園等		17,000キット

◆ 施設内感染**専門サポートチーム**の派遣等

- ・希望される高齢者施設や子どもの施設等に対し、
感染対策研修や個別訪問による換気対策等の助言の実施

保健所の体制・機能強化

陽性者へのファーストタッチ等を迅速に実施できる体制の構築

→重症化リスクの早期判定と本人・家族の不安を解消

<現状>

保健所体制	約490人
保健所内職員	約260人
応援職員等	約230人

拡大

<拡充後(令和4年7月下旬目処)>

保健所体制	約1,100人
保健所内職員	約350人
応援職員等	約760人

◆保健師が健康観察等に集中できるよう、保健所業務を本庁等へ集約し、負担を軽減

高齢者施設等への医療提供体制の強化

安心して療養いただくために

◆ 往診体制の確保

- ・施設医・協力医療機関に地域の医療機関を加え、往診体制を強化

◆ 看護師の確保・派遣

- ・施設内での医療的ケアを行う看護師を確保し、施設に派遣

◆ 往診コーディネートチームの設置

- ・感染発生施設への医療アセスメント、往診のコーディネート、施設医等へのバックアップ

入院療養体制の強化

◆感染拡大に備え、受入病床（重症～軽症）をさらに拡充

確保病床（3月31日）	
病院数	53病院
病床数	830床
重症病床	171床
うち高度重症病床	51床
中等症病床	490床
軽症・無症状病床	169床
入院待機ステーション （臨時の医療施設）	110床
合計	940床



7月19日	拡充数
56病院	+ 3病院
851床	+ 21床
175床	+ 4床
51床	
493床	+ 3床
183床	+ 14床
110床	
961床	+ 21床

※他に妊婦等配慮を要する方の
専用病床20床